

ダコニール 1000

大切なのは 摘採後に残る葉 しっかり守れていますか？



二番茶・摘採する三番茶

摘採しない三番茶・秋芽



摘採残葉となる
下位1葉を
守ることが重要！



翌年一番茶の
親葉となる越冬葉層を
守ることが重要！

効果が高く、残効の長い
ダコニール1000 で
「萌芽期～1葉期」の予防散布

ダコニール1000 による
「萌芽期～1葉期」散布
+
治療効果の高い薬剤(EBI剤)による
「3～4葉期」散布



病害防除は、やっぱりダコニール！

主な
特長

- 主要病害の多くを同時に防除！炭疽病/褐色円星病/網もち病/新梢枯死症/もち病/黒葉腐病
- 樹勢低下を引き起こす炭疽病に 高い効果！長い残効！芽のバラつきに強い！
- 摘採10日前まで使える！



適用拡大〉炭疽病・新梢枯死症の同時防除も700～1000倍でOK！



ダコニール 1000

ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

有効成分：テトラクロロイソフタロニトリル(TPN)…40.0%w/w 性状：類白色水溶性粘着懸濁液

ダコニール倶楽部

http://daco-club.com



スマホの
カメラで
簡単っ！
簡単っ！
簡単っ！



- 三番茶や秋芽、更新園は芽のバラつきが大きい。
- 新葉は開葉後10日以上感染の危険にさらされています。



大切な摘採残葉を
しっかり守るためには
やっぱりダコニール！

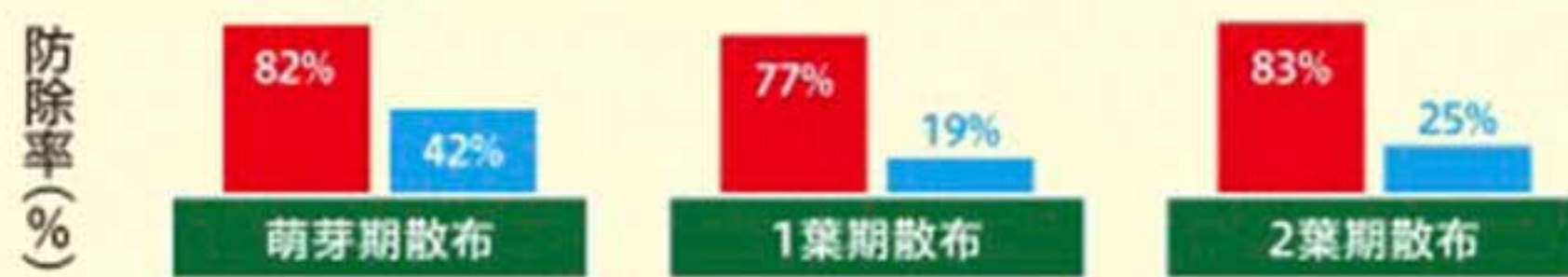
炭疽病に効果が高いだけでなく 茶芽のバラつきに強く、残効性に優れています！

■薬剤散布3日後に炭疽病菌を接種



いずれの
芽に対しても
高い効果！

■薬剤散布10日後に炭疽病菌を接種



散布10日
後も効果が
持続！

●静岡農技研(茶研セ)・2008年 ●新芽生育の調整：二番茶を放任し、硬化後から整枝を行い、散布時の新芽が萌芽期・1葉期・2葉期となるように調整した。
●薬剤：ダコニール1000 700倍、A剤 2000倍 ●薬剤散布日：8月27日、9月3日 ●炭疽病菌の接種：9月6日 ●調査：接種24日後及び31日後(2回の調査結果の合計から防除率を算出)

【茶に対する適用病害と使用方法(抜粋)】 新梢枯死症(輪斑病菌による)の1000倍が追加され700～1000倍になりました。

適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数※
炭疽病、もち病、輪斑病、新梢枯死症(輪斑病菌による)	700～1000	200～400 ℓ/10a	摘採 10日 前まで	1回	散布	1回
網もち病、褐色円星病	1000					
黒葉腐病、灰色かび病	700					

●除斑病にも高い効果！
「摘採直後～摘採後当日」もしくは「摘採後7日以内に摘採面より1cm程度深く整枝し、その後～整枝後当日」に散布しましょう。

※ 耐性菌田圃のため、同じ系統の実用は年1回使用が基本。
ただし、ダコニール1000は耐性菌の発現リスクが極めて低く、各茶期1回使用できます。
1) 有効成分TPNは世界で50年以上使用されていますが、耐性菌発現の報告はありません。
2) ダコニール1000の散布後、次の散布までに摘採等が必要です。

●ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は農薬などに混ぜず3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄液はタンクに入れてください。